

## 「あれから 7 年スペシャル～仙台市職員の震災体験を、100 年後の人たちへ～」に参加しました(2018/3/18)

テーマ：震災伝承、アーカイブ

場所：東北大学災害科学国際研究所多目的ホール（宮城県仙台市）

3月18日（日）に、当研究所にて「あれから7年スペシャル～仙台市職員の震災体験を、100年後の人たちへ～」が開催されました。仙台市職員の自主的研究グループ Team Sendai では、災害対応業務に従事した職員の体験を後世に伝えるため、職員へのヒアリングや伝承活動に取り組んでいます。本会は、職員の体験を「朗読」や「映像」などで伝えるイベントとして開催されました。東北大学災害科学国際研究所・共同研究プロジェクトとして、「東日本大震災および熊本地震における仙台市の災害対応に関するエスノグラフィー・アーカイブスの構築（代表：常葉大学・田中聡教授，当研究所受け入れ教員：佐藤翔輔准教授）」が採択されており，その中で Team Sendai でのヒアリング活動が支援されています。これまで同イベントは仙台市役所内で開催されていましたが，以上を受けて今年度は当研究所での開催となりました。

本イベントは，朗読，映像視聴，写真を利用したワークショップ，ワールドカフェなどが行われました。冒頭で当研究所の今村文彦所長・教授（災害リスク研究部門）がウェルカムスピーチを行ったほか，終盤に佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）がコメンテーターをつとめました。3.11 明けの日曜にも関わらず，約 100 名が参加し，盛会となりました。



今村文彦所長（ウェルカムスピーチ）



会場の様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）